

# 生き方探究教育パッケージプログラム(例)

## <生き方探究教育パッケージプログラムとは…>

教科等の中で、生き方探究教育で育てたい力に関わる学習単元（小学校第4学年～中学校第3学年）を抽出し、「京都まなびの街 生き方探究館」などでの体験的な学習を組み込んで作成した学習プログラムです。これらは、ほぼ時系列に記載していますので、教育活動の中で、子どものキャリア発達課題を系統的に支援していくことができます。

下記に示したものは、<私案>生き方探究教育で育てたい力【4領域8の力】です。これは、中央教育審議会が平成22年5月に示した「基礎的・汎用的能力」を加味し、従来の「5領域17の力」を改編したものです。

## <私案>生き方探究教育で育てたい力【4領域8の力】

(Ⅰ) 人とともに社会を生きる力	① 人間関係形成能力
	② 社会参画能力
(Ⅱ) 自分を知り自律する力	③ 自己理解能力
	④ 自己管理能力
(Ⅲ) 課題を見つけ解決する力	⑤ 課題発見能力
	⑥ 課題解決能力
(Ⅳ) 夢や希望をつくりあげる力	⑦ 役割認識能力
	⑧ 将来設計能力

## <生き方探究教育パッケージプログラムの見方>

○各学年において、【4領域の力】と関連が深い教科・領域の単元をそれぞれ三つ程度抽出し、単元名・指導時間とともに、単元の目標を○印で、生き方探究教育でめざす子どもの姿を、上記の【8の力】の番号とともに、◆印で記載しています。

○中学校においては、「経済の働き」について学習する社会科公民や、「将来設計」に直接関わる進路学活など、生き方探究教育に関わりが深い学習内容を重点的に記載しています。

○教科・領域とともに、生き方探究館などにおける、体験的な学習を記載しています。（これらの体験的な学習は、実際の実施学年とは異なっています。）

- ・小学校第4学年… 京都モノづくりの殿堂・工房学習（全6時間）
- ・小学校第5学年… 京都スチューデントシティ学習（全18時間）
- ・中学校第1～2学年… 生き方探究・チャレンジ体験（全58時間）

※5日間の職場体験については、第2学年で実施する。

※京都ファイナンスパーク学習（全12時間）については、本市中学校では、中学校第1学年または第2学年で実施しています。社会科の学習内容との関連を考え、第3学年で実施した場合についても記載しています。

○右の欄には、日常活動において、この学習プログラムを支える具体的な取組を記載しています。教科等の学習以外でも育てたい規範意識や活動例を挙げています。

## <活用の仕方>

○生き方探究教育で育てたい【4領域の力】ごとに作成しています。子どもの実態を把握した上で、重点的に育てたい領域の力を選び、活用することができます。

## <活用の留意点>

○実施学年や時期、時数、教科等については、学校の年間計画や子どもの実態に応じて実施してください。

○本学習プログラムは、「京都市キャリア教育スタンダード 生き方探究教育 概要編」及び「京都市立学校教育課程 スタンダード指導計画（小学校 平成23年度版）（中学校 平成18年度版、平成22年度移行措置版）」を参考に作成しています。